

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会

札内川ダム定期報告書 概要版

平成31年3月

目 次

1. 事業の概要
2. 防災操作
3. 利水補給
4. 堆砂
5. 水質
6. 生物
7. 水源地域動態
8. 景観

1. 事業の概要

札内川ダムの概要と位置

- ・ 札内川ダムは、十勝川水系札内川の上流に位置する。
- ・ 平成10年に竣工し、管理に移行してから平成29年まで20年が経過している。

◆ 札内川ダムの概要

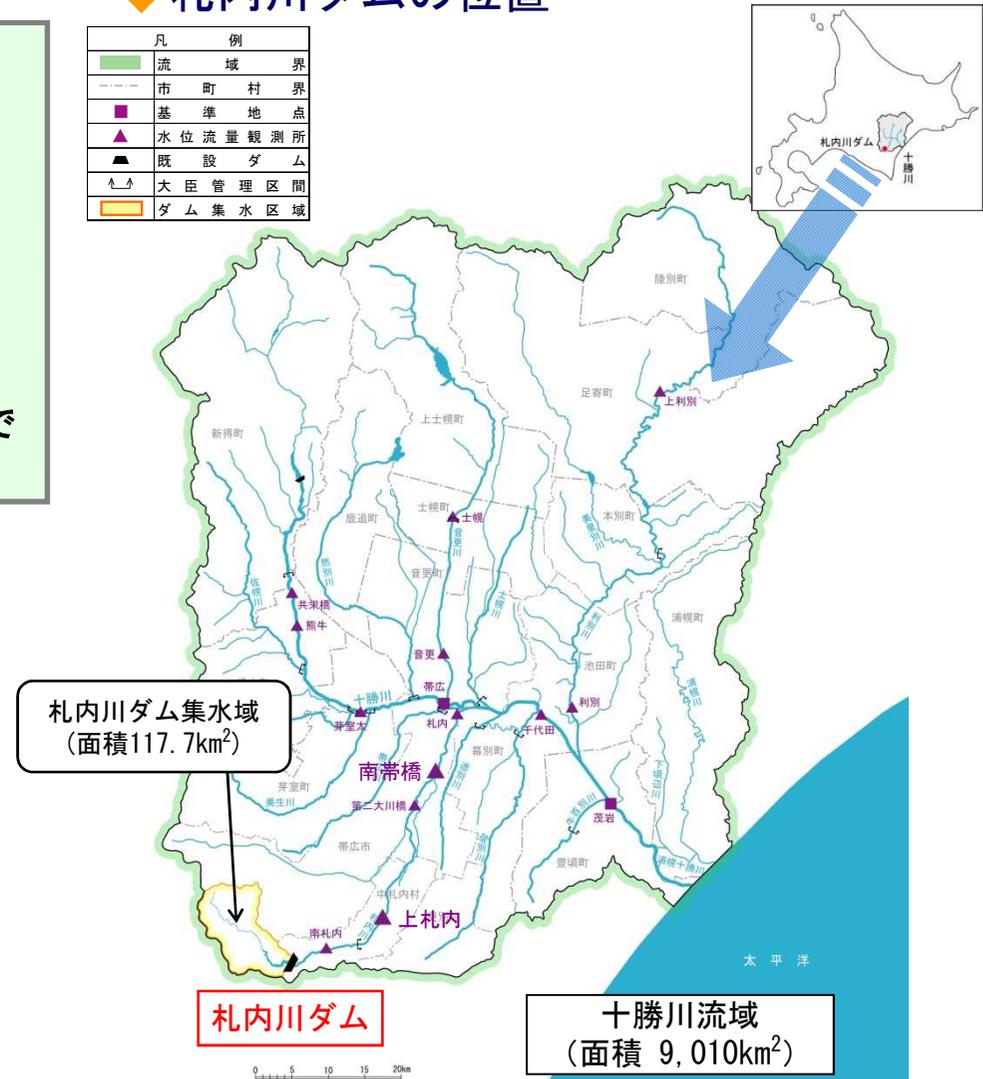
- ・ 形 式：重力式コンクリートダム
- ・ 目的：防災操作、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道、発電
- ・ 堤 高：114.0m
- ・ 堤 頂 長：300.0m
- ・ 総貯水容量：54,000千 m^3
- ・ 堤 体 積：770千 m^3
- ・ 集水面積：117.7 km^2
- ・ 竣工年：平成10(1998)年（平成29(2017)年まで20年経過）

◆ 札内川ダムの外観



◆ 札内川ダムの位置

凡 例	
	流域界
	市 町 村 界
	基準地点
	水位流量観測所
	既設ダム
	大臣管理区間
	ダム集水区域



◆ 札内川ダムの目的

防 災 操 作

ダム地点の計画高水流量 $700\text{m}^3/\text{s}$ に対して、 $120\text{m}^3/\text{s}$ （計画最大 $150\text{m}^3/\text{s}$ ）を放流し、最大 $580\text{m}^3/\text{s}$ の防災操作を行う。

流 水 の 正 常 な
機 能 の 維 持

札内川ダム下流の既得用水に対する補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るため、基準地点の南帯橋地点で最大 $3.21\text{m}^3/\text{s}$ を確保する。

か ん が い

ダム下流部の中札内村を中心に、1市1町2村の約20,300haの農地（畑作）に対し、最大 $5.597\text{m}^3/\text{s}$ の取水を可能とするよう補給を行う。

水 道

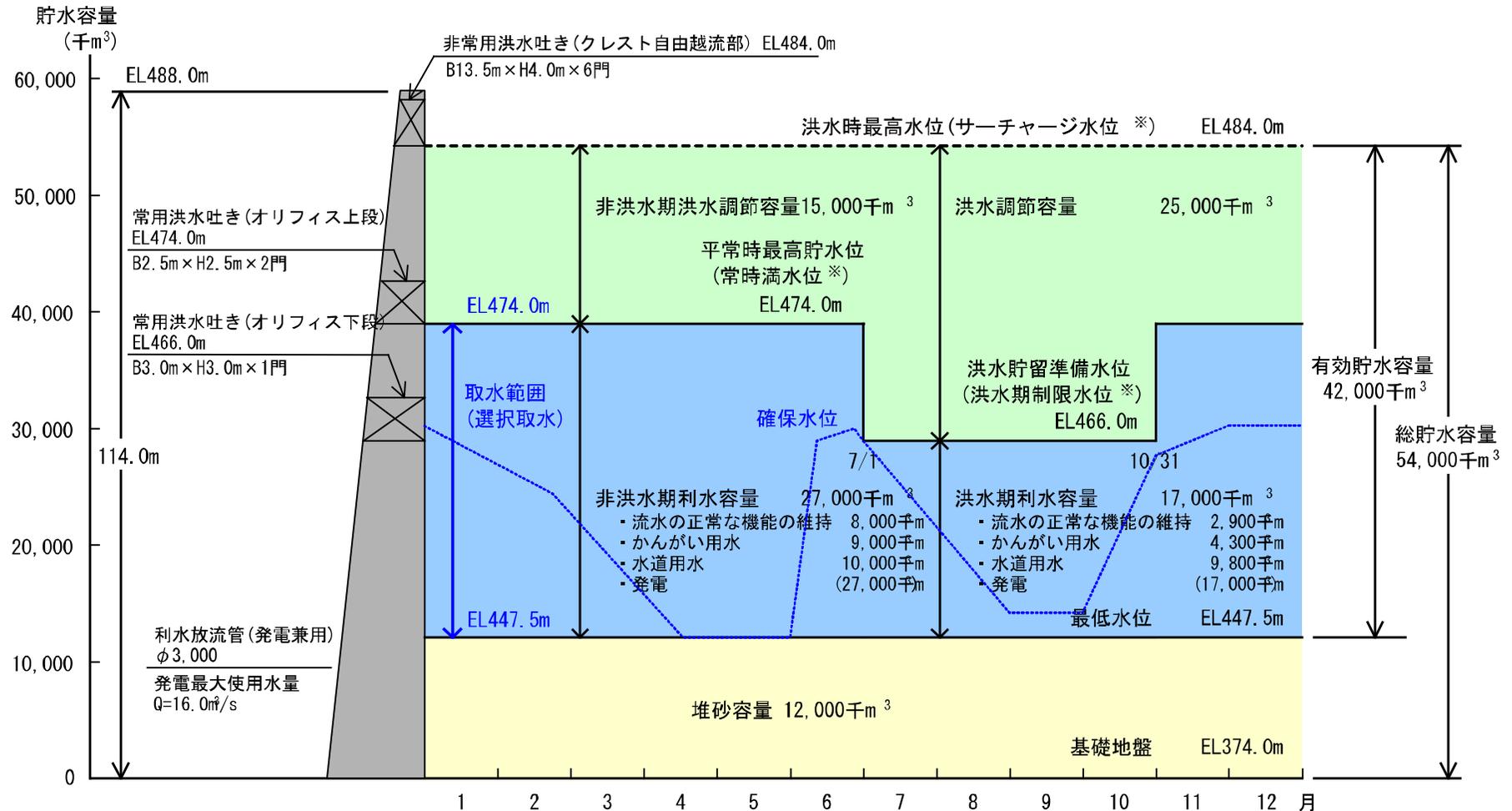
帯広市、音更町、幕別町、芽室町、池田町、中札内村、更別村に、最大約 $100,200\text{m}^3/\text{日}$ の取水を可能とするよう水道用水を補給する。

発 電

札内川発電所は、最大 $8,000\text{kW}$ 、年間可能発生電力量 $31,730\text{MWh}$ （計画値）を発電し、地域に安定的な電力の供給を行う。

札内川ダムの貯水池容量配分

貯水池容量配分は洪水期と非洪水期で配分を変更する制限水位方式としている。
洪水期には利水容量1,700万 m^3 とともに、洪水調節容量2,500万 m^3 を確保している。



※) 「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」(平成18年10月1日国河情第3号河川局長通知)によりダム水位関係の用語が変更となっているため、新用語と共に旧用語をカッコ内に併記した。

(旧)サーチャージ水位 → (新)洪水時最高水位
 (旧)常時満水位 → (新)平常時最高貯水位
 (旧)洪水期制限水位 → (新)洪水貯留準備水位

注) 洪水期: 7/1~10/31、非洪水期: 11/1~6/30

札内川ダムの放流設備

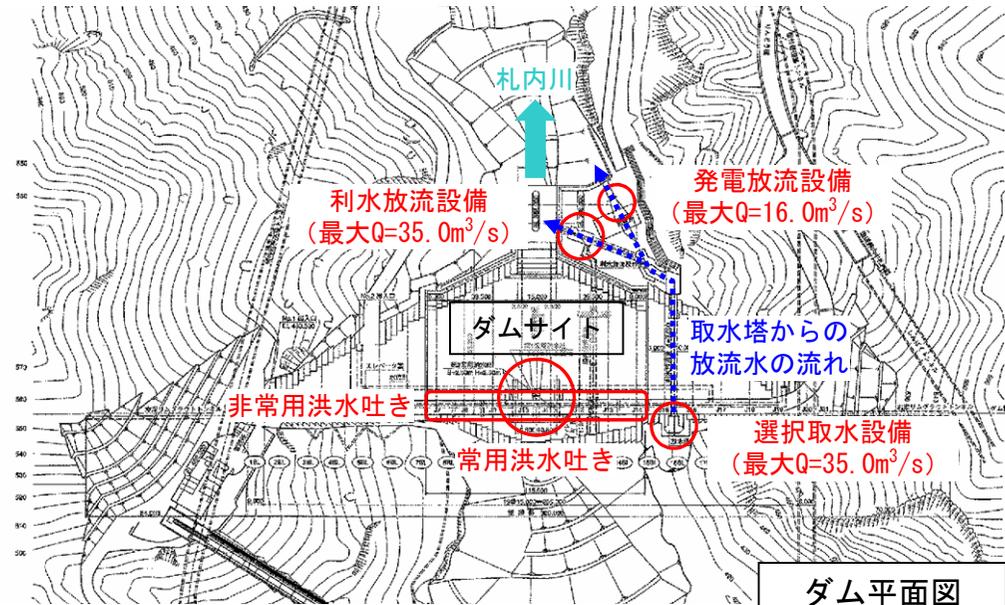
札内川ダムの放流設備は、常用洪水吐き、非常用洪水吐き、発電放流設備、利水放流設備が設置されている。

◆ 札内川ダム平面図・下流面図

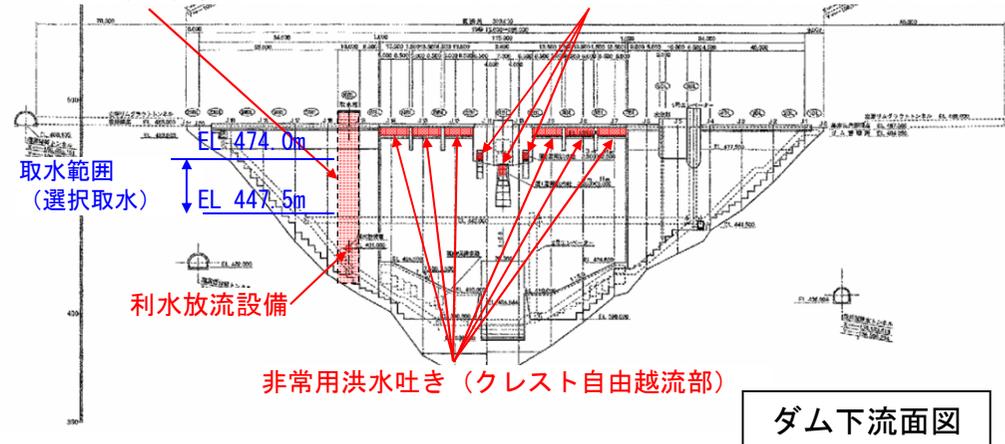
非常用洪水吐き、常用洪水吐き及び選択取水設備



常用洪水吐き(オリフィス下段)からの放流



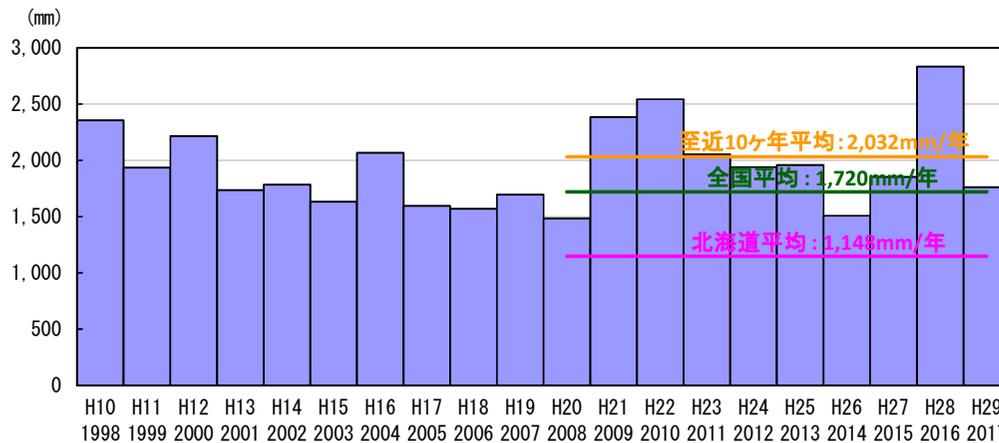
取水塔(直線多段式ローラーゲート) 常用洪水吐き(オリフィス上段・下段)



札内川ダム地点の降水量

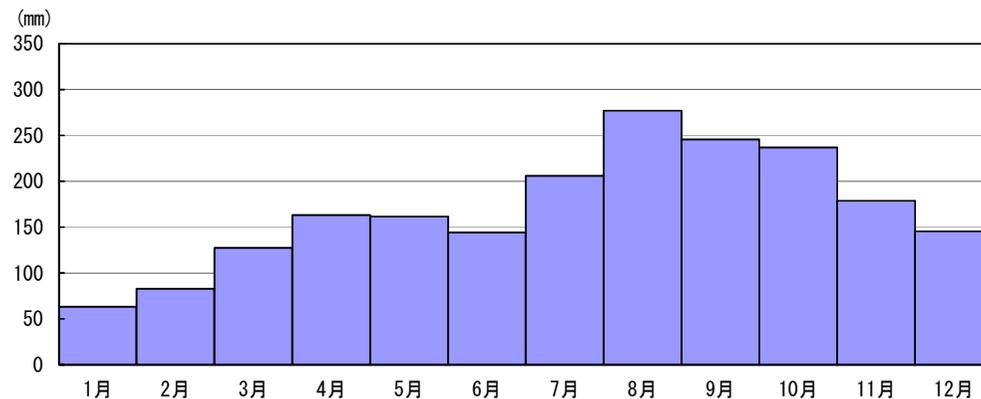
札内川ダムの年間降水量は約1,500～2,800mmであり、10カ年の平均では約2,032mm/年となっている。また、月別の平均降水量は、最も降水量が多い8月で約280mm/月、最も少ない1月で約60mm/月となっている。

◆ダム地点の年間降水量の推移

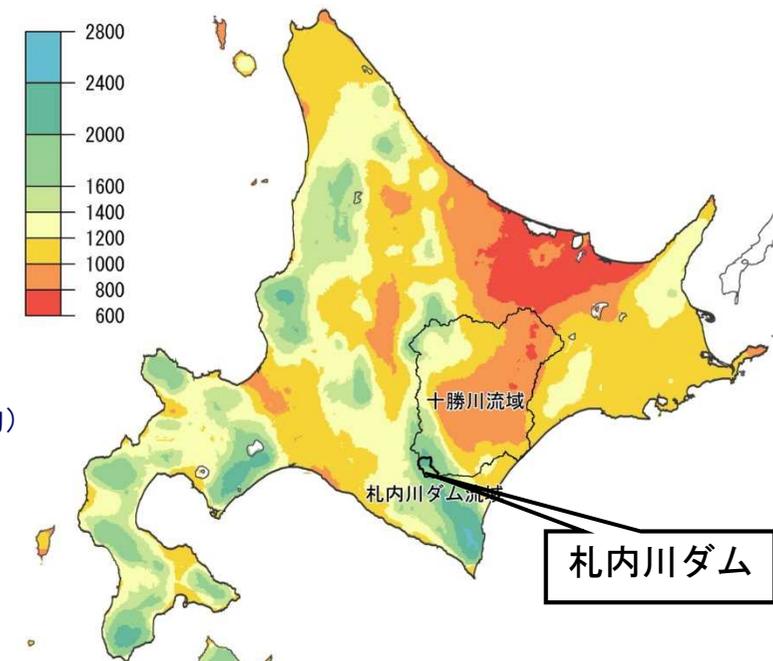


※全国平均及び北海道平均の値は、「日本の水資源（平成30年：国土交通省）」より

◆ダム地点の月別降水量（平成20年（2008）～平成29年（2017）の平均）



年間降水量分布図



出典：国土数値情報 (<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)
 H24平年値メッシュデータ(昭和56(1981)～平成22(2010))
 提供：国土交通省国土政策局国土情報課